テーマ

困っている外国人に「どうされました？」のひとことがかけられる看護師を目指す

カテゴリー：　②教育内容　⑤人材育成

学校概要：姫路赤十字看護専門学校　　所在地：兵庫県姫路市下手野 1-12-2

課程名：3 年課程　　1 学年定員数:40 名　　修業年限:3 年

　本校では、赤十字活動のひとつである国内救護・国際救援活動に従事したいという夢を持った学生が入学を希望しています。昨年紹介した災害医療論・災害看護学の中でトレーニングセンターを実施して救護活動の実際を学んでいます。

今回は、「看護場面の英会話」を学んでいくカリキュラムを紹介します。



外国語Ⅰ
- 1年次後期
- 90時間
- ケニアと交流



外国語Ⅱ
- 2年次前期
- 90時間
- ロールプレイ



異文化論・グローバルヘルス
- 3年次前期
- 90時間
- 学びのスピーチ

　看護英語テキストとアプリを活用してネイティブ講師との対話を活発にした講義を組み立てています。「外国語Ⅱ」を終了した 9 月に看護英語検定試験を受験しています。昨年度は33名が認定証を取得しました。今年は全員合格を目指して小テストやアプリでの繰り返しトレーニングを積み重ねています。

　「異文化論・グローバルヘルス」では、講師とインタビュー形式で臨床実習での学びを語ります。また、F. ナイチンゲール記章受章者である卒業生から現地の人々の価値観や習慣を大切に引き出し現地の人々が自立していける国際救援活動の実際を学びます。英語が話せることと同じように「やさしい日本語」で在日外国人の方が理解しやすい関わりを討議して日本語についても伝え方を工夫することの大切さを学んでいきます。

　春季休業中には、インターナショナルスクールの「スプリングスクール」にボランティア参加して、看護に関する身体の名称や聴診器など使用する物品のクイズや「ひとが倒れていたら」のロールプレイ、そして、「けがの手当て」ではバンダナを使って一緒に行いながら、ゲームを通して英語での対応について小学生と楽しく学ぶ体験ができました。準備は苦労したけど、小学生が人懐っこくて楽しくやりがいを感じ、「また参加したい」という感想でした。

　これらの取り組みは、将来「看護教育」に興味を持ち、基礎教育に係わる支援者の育成として位置づけています。

